

事業者向け

令和元年度 放課後等デイサービス自己評価表

職員8名中 8名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	おやつを食べ終えた後や、お休みの日の食後などは、机を端に動かし、動線の確保をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	基準人員や加算人員を下回らないことはもちろん、子どもへの支援に適切な人数であるように常に意識している。 現在は子ども10名に対して6名のスタッフで支援にあたっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	事業所がバリアフリー構造になっている。車イスの子は、神鹿のトイレを使うなど、臨機応変な対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	0	スタッフ全員が参画できるようミーティングを重ね、参加できないスタッフには事前に資料を配布して意見を言える環境を作っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	年に1度の評価表に加え、必要に応じてアンケートを実施し、利用児童や保護者の意向と乖離しないよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	毎年評価表を集計し、法人HP内で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	第三者評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	内部研修、外部研修を広くスタッフに呼びかけ、スタッフのスキルに合わせた研修の機会を提供している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	年度始めのフェイスシート、保護者面談、学校の指導計画、相談支援事業所のサービス等利用計画書を合わせて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	子ども達の活動の様子を観察し、保護者、他事業所からの聞き取りを行っている。 また、年度初めのフェイスシートを保護者に記入してもらい、支援の参考にしていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	各活動で担当を決め、意見交換をしながら行っている。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	季節の行事はある程度固定化されるが、子どもの状態にあわせて、教材やおもちゃ、本などを選んでいる。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	時間が短い平日は自由遊びをメインにし、休日や長期休暇に外出やイベントを入れている。また、レク係を決め、細やかな対応に努めている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスを計画を作成しているか	8	0	0	子どもの気持ちを尊重し、強制ではない支援を心がけている。参加できない時はどうすれば参加できるのかスタッフ全体で話し合いをしている。支援計画も一人の意見に集約されすぎないことに気をつけ、様々なスタッフの意見を求めている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	当日のリーダーを決めており、リーダーは打ち合わせのまとめ役として、申し送り、支援内容、行事予定などをホワイトボードで見える化し確認している。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	0	支援後には行っていないが、帰りの送迎時に振り返りをしたり、スタッフノート等を共有して情報の漏れがないように努めている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	まいにち書く毎日記録をつけ、個別支援計画の作成に活かしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	6ヶ月に一度モニタリングを行い、目標の到達具合を見る。目標が達成されていけば繰り上げる場合もある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	0	0	行っている。地域交流の機会の提供はボランティアなどの受け入れなどでイベントを催している。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	児童発達支援管理責任者が出席している。児発管が欠席する場合は、常勤スタッフが代わりに出席し、議事録を作成した上で児発管に報告をしている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	行っている。積極的に担任とコミュニケーションを取り、情報共有に努めている。また学校主催の管理者説明会に必ず参加している。
22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	0	ととの整えている。

関係機関や保護者との連携	23	しゅうがくまえりよう ほういくしょ ようちえん に 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間で じょうほうきょうゆうそうごりかい つと 情報共有と相互理解に努めているか	7	1	0	じどうはつたつしえん じぎょうしょ あいだ じょうほう きょうゆう 児童発達支援事業所との間では情報の共有が できている。保育所、幼稚園とのネットワークづ くりが課題。
	24	がっこう そつぎょう ほうかご どう じぎょうしょ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する ばあい じえん ないよそう じょうほうていきょう 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等しているか	0	4	4	できていない。 ぶくぶくからのアプローチをするなどして、改善 を図りたい。
	25	じどう はつたつしえん はつたつちやうがいしん 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修を う 受けているか	7	1	0	ねん すうかい けんしゅうさんか 年に数回の研修に参加している。
	26	ほうかご じどう じどうかん こうりゆう しょ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	4	こうえん ちいき こども たち こうりゆう 公園での地域の子ども達との交流はあるが、 ほうかご じどう じどうかん こうりゆう 放課後児童クラブや児童館との交流はしてい
	27	ちいき じりつ しえん きょうざかほう せつきよくてきさんか (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか	0	0	8	さんか 参加していない。
	28	ひごろ こ じょうきょうほごしゃ つた あ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 こ はつたつ じょうきょうかだい きょうつづ 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っているか	8	0	0	そうげい さい かならほごしゃ かお あ どうじつ 送迎の際、必ず保護者と顔を合わせて当日の ようす つた えてい。あ うことが難しい保護者に れんらくちやう でんわ れんらく おこな は連絡帳や電話、メールで連絡を行っている。
29	ほごしゃ たいおうりよく こうじやう はか かんてん ほ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか	4	0	4	ペアレントトレーニングは行っていないが、保護 者会で、保護者同士の意見交換を促し、子ども や学校への対応の情報交換を行っている。	
保護者への説明責任等	30	うんえいきてい しえん ないよう りやうしゃ ふたんどう 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っているか	8	0	0	けいやないよう しえん ほうほう か ばあい かなら 契約内容や支援方法が変わる場合には必ず せつめい おこな 説明を行っている。
	31	ほごしゃ こそだ なや どう たい そうだん 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい るか	8	0	0	おこな 行っている。 てきせつ しえん きかん しょうかい 適切な支援機関の紹介もしている。
	32	ふぼ かい かつどう しえん ほごしゃ かしよう 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支 援しているか	8	0	0	ほうじんゆさい かぞく かい しゆさい ほごしゃ かい 法人主催の家族会、ぶくぶく主催の保護者会 ひら ほごしゃ どうし いけんこうかん おこな きかい を開き、保護者同士が意見交換を行える機会 をつく を作っている。
	33	こ ほごしゃ くじやう たいおう 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切 に対応しているか	8	0	0	くじやうたいおう たいせいせいび けいやくしよ めいき 苦情対応の体制整備をし、契約書に明記して いる。苦情があった場合はマニュアルに沿って たいおう じんそく うご つと 対応し、迅速に動けるよう努めている。
	34	ていきてき かいほう ほうこう かつどう ぎょうじ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信しているか	8	0	0	ねん かい ほうじん かつどう ほうこく つうしん りやう 年に4回の法人の活動を報告する通信を利用 者へ送っている。 ねんどはじ ねんかぎようじ し けいさい また、年度初めに年間行事やお知らせを掲載 した「ぶくぶくを利用するにあたって」という手紙 を配っている。

	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	Facebookなどの写真掲載や担当者会議で使用する情報は同意書をいただいている。 法人でも個人情報の管理について毎年研修をおこなっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	ふりがなをふった手紙、契約書などの準備をしている。難しい場合は個別に時間を取って対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	3	法人として地域に開かれた事業所であるよう、行事の計画・運営を進めていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	法人既存のマニュアルにぶくぶくの状況を照らし合わせて使用している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	どの曜日の子どもも訓練ができるよう年間スケジュールを立て、地震・火事・水害を想定した訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	法人の研修や東京都の研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	0	身体拘束を行う対象児童がいない。 対象児童がいる場合は、3原則に照らし、計画的に行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	対象児童には、保護者に医師からの指示を受けた書類の提出をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	共有している。 ミーティングで全スタッフに情報共有している。